



早稲田小だより

1年42名 2年53名 3年57名
4年69名 5年62名 6年60名
計343名

成長の秋

校長 中西 健二

朝の空気は わずかに冷たく 肌をかすめるたびに秋を告げていく。
日差しが角度が低くなり 放課後 校庭の子ども達の影が日に日に伸びている。
いよいよ「実りの秋」「成長の秋」が早稲田小にやってきた。

10/3(金) 6年生は丹後小・前間小との近隣陸上合同記録会がある。
全員 学校代表の選手として出場する。

<9月中旬 体育館 なわとび選手放課後練習の一コマ>

彼は「3分間連続時間跳び」をまだ 1回もクリアしたことがなかった。

練習で「1分間連続跳び」に全員でチャレンジした時

1分過ぎてても なわとびの音が続いていた。見るとその彼である。

1分跳び終わって 腰を下ろしていた仲間達が それに気づき始める。

2分に差し掛かろうとする時 体育館の空気が一つになった。

仲間たちの声援が 彼を包み込んでいる。

一緒に練習をしてきたからこそ 彼の気持ちが痛いほど伝わってくる。

彼は 3分達成を1人目指して跳び続けている。今日 今 達成したいのだ。

チャレンジは一人でも 仲間全員の気持ちは一緒に跳んでいる。

ラスト1分は こんなにも長いのかと思えるほどの戦い。

彼の顔が苦しさゆえにゆがむ。仲間の声援がひと際大きくなる。

「ラスト 10 秒」 カウントダウン…そして…拍手と歓声！

そして 彼はやり切った。なんというか もの凄くカッコよかった。

達成を後押しした仲間たちもステキだった。

練習は再開し 暫くして最後に全員で「3分間連続時間跳び」の挑戦が始まった。

彼の2回目の挑戦は 健闘むなしく およそ1分 30 秒で幕を閉じた。

練習最後のミーティングに「今日 全力を出せた人？」という先生からの質問に
彼は…手を挙げることはなかった。

はじめて今日「3分間連続時間跳び」をクリアできたのにも関わらず

2回目の挑戦で引っかけってしまったことが悔しくてたまらなく

薄っすら悔し涙。彼は強くなる！

10/3(金) 大会本番の予定。そんな早稲田小6年生が弱いわけがない！